

要 望 書

板山の風力発電建設は建設地予定地の区民への説明なしに進められています。また、当該地は八チクマのメインルートです。事業者に対し適切な指導をお願いします。

平成29年7月18日

ふるさと自然の会

平成 29 年 7 月 18 日

佐世保市長
朝長則男 様

ふるさと自然の会
会長 川内野善治

板山風力発電事業者へ指導のお願い

記

(1) 建設計画地の区民及び地元町民に建設に関する説明

板山の風力発電建設は、住宅地への距離が至近、タカ類やツル類の渡りのルートであることによる、地元の反対署名などの結果、当初建設計画を進めてきた前事業者は地元で歓迎されない事業は実施しないとして撤退しました。

今回(株)山茶香が新たな風力発電会社を誘致し建設事業を進めています。上野原地区の一部では説明をしたようですが、いまだ建設地である板山区民への説明はありません。

建設地は前計画に比べ板山区の住居より距離が離れていますが、建設予定地区の住民に対し説明会を開催し意見を聞くのは当然です。

また、世知原町の財産とも言うべき景観にも大きな影響を与えますので、狭い区域だけでなく町民に対しても説明を行うべきです。

事業者に対し住民説明会(個人ではなく)の開催をご指導ください。

*最初の事業者は町民を対象に説明会を開催しました。



< 風力発電建設予定地 >

(2) 渡り鳥に与える影響

2012年のハチクマプロジェクト{慶應義塾大学 SFC 研究所生物多様性研究ラボ(樋口 広芳慶應義塾大学特任教授)}によるハチクマの渡りの衛星追跡によると非常に高い確率で風力発電予定地の上を通過しています(追跡した4羽のうち2羽の上空通過を確認)。

日本野鳥の会長崎県支部では烏帽子岳で渡りの調査を長年行っていますが、板山付近での状況は分かりませんでした。しかし、前事業者の調査では「2016年9月20日に500~600個体(当日の烏帽子岳の個体数と同等かそれ以上)板山山頂近傍で確認した。」と報告されています。

ハチクマなどのタカ類は東から飛来したものが、国見山から二つの尾根沿いに沿って発生する上昇気流を渡りに使っています。一つは国見山 小塚岳 板山 平戸、もう一つは隠居岳 木場山 烏帽子岳 平戸です。

このように重要な場所に風力発電機を建設するのは、既応の調査により明らかに大きな問題であり、ここに風力発電施設を建設するのは極めて不適切な行為です。

佐世保市環境基本計画では、

- ・生物の多様性を保全する。
- ・野生生物の生息環境の保全。
- ・希少な野生生物が生息する場所での開発行為は、その影響を回避・低減するための措置を講じるよう助言・指導を行います。

とあります。

市では十分に検討され実効性のある指導をお願いします。

以 上

市の指導について8月7日までに文書で明確にご回答下さい。本要望書及び回答は当会のホームページに掲載すること予めお知らせします。

ふるさと自然の会

会長 川内野善治

〒859-6405 佐世保市世知原町開作427

TEL/FAX 0956-78-2865

<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~furusato/>